**現代平和論　2回目　　2022年10月4日　　　　藤岡 惇　C108**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２９８名の受講

**１．　 藤岡第1レポートの論題 （「正体」レポート、配点は８点）**

**（１）孫のアルンが語る「ガンジーの生涯」のビデオ（**[**https://youtu.be/6NiS0ogjf2k**](https://youtu.be/6NiS0ogjf2k)**）映像を観たうえで、以下の問いにこたえてください。**

1. 感銘をうけた言葉や学んだことをまとめてください。
2. 「非暴力・市民的不服従」（サティヤグラハ＝真理の把持）の威力の大きさをガンジーは説いています。それはなぜですか。どんな状況下で、その威力が最大となり、どんな状況下では、小さくなるのでしょうか。
3. 現下の諸問題を解決していくうえで、疑問に思ったことや課題について、提起してください。

**（２）藤岡の「正体」とかかわって、以下の2問から一つを選んで答えてください。**

１）原爆投下50周年をきっかけに、立命とアメリカン大学との間で始まった「日米を結ぶ原爆を学ぶ旅」は、2017年夏をもって休止しました。「向日葵とアンパンマンーー23年目のゴールイン」（藤岡のHP　<http://eco-economy.ever.jp/wp/>　の３．の最後に所収）　を読み、もっとも注目したエピソードを１つ紹介してください。

**２）**『私と世界とあっちゃん先生』（藤岡のＨＰの「11．わが人生、わが郷土の歴史」所収）を読み、感じたことを述べてください。

提出期間は、**10月10日―10月14日（金）深夜１２時**まで。単位取得をめざす受講生は全員、このレポートを提出してください。そのため提出の最終期限を**2023年２月５日**まで延長します。ただし遅延程度におうじて、減点します。

**２．　この科目の探究対象の「平和」とは、そもそも何だろうか**

WHO　の「積極的な健康の定義」

私の好きな定義　　紛争をハンドリングして、より低いレベルに変質させる能力。

　　　　あるいは、これができる人を輩出する「健康な社会関係」のこと

カギは「弁証法＝創造的妥協の生き方を実践できるか」（南相馬市長の桜井勝延さん。色平哲郎医師の親友で、震災の半年後の市役所で、藤岡ゼミ生に語ってくれた）



**――生命を生み出してきた「星の生と死」を素に「宇宙主体（アニミズム）的唯物論」を考えついた経緯**

　脳主体的唯物論（唯脳論、北朝鮮風の「主体思想」））から　自然主体的→「宇宙主体（アニミズム）的唯物論」の世界にたどりつき、平穏を取り戻せた、わが人生・・・

1. **モノ（原子・分子・有機物質）の起源**

　138億年前のビッグバン以降の**「造物主」とは**？

超新星爆発　、さらにブラックホール・中性子星の衝突・合体の巨大なエネルギー　・重力波の発生

　　2015年の重力波の初観測時に太陽の36倍と29倍の質量をもつ２つのブラックホールが衝突・合体した。36＋29＝65　のはず。しかし実際には62倍になっただけ。65－62＝３　　　太陽の3倍に達する質量はどこに消えたのか？

アインシュタインが発見した最も美しい自然法則　　　　Ｅ＝ＭＣ２

ー－巨大な重力波となり、金・銀・プラチナを作り出してきた・・・・

**２）イノチ＝私の自我とは何もの？、　どこから来て、どこへ行くの？**

ここでクイズ①：　ヒトの体内の細胞の数は、37兆。細胞内に2メートルのDNAの糸が内蔵。

一本の糸につなぐと、7400億キロの長さ、地球と太陽とを間を2500回ぐるぐる巻きできる長さだよ・・・

人体とは、宇宙が１３８億年の無数の星の爆発をとおして、ついにつくりあげた「共同作品」たる「星の王子さま」。「宇宙の自己認識装置」ではないか。　　2500回ぐるぐる巻きできる長さだと気がついた動物は、ヒト以外にいるか？

　　　　　　　　　　　　本科目の第3のテーマソング：　　中島みゆきの名曲「地上の星」

**３）母なる大地（Mother Earth）の実体とは何か**

　　わが身体が、「宇宙の子」として生まれだけでなく、この惑星の海と表土の炭素、ウイルス、微生物たちによって生み出さされ、生かされてきた経緯

生産＝製造・私有でき、好きなように消費・廃棄できる財のような「ちっぽけなモノ」か？

沖縄人のコスモロジー：毎日がイノチの祭　　・・・イノチを授かり、寿命が尽きると、召される・・・

アイヌ・風の人のコスモロジー：　ウレシパモシリ

　　　　　　　　神の代理者＝熊のイノチをいただく儀式

ここでクイズ②　あなたの一番、古い記憶―――いつの記憶？

**４．　．わが心身の健康・免疫力を支えているのは、母なる大地（Mother Earth）　　その実体とは何か**

**１）デイビッド・モンゴメリーほか『土と内臓――微生物がつくる世界』築地書館、2016年の衝撃**

**２）桐村里紗『腸と森の「土」を育てるー－微生物が健康にする人と環境』**

**（光文社新書、2021年8月）**

３）**吉田太郎『土が変わるとお腹も変わるー－土壌微生物と有機農業』**築地書館、2022年3月

　カーボンを切り口に、食べ物、健康、気候変動、菌根菌の、深い結びつきを描く。　とくに炭素と菌根菌――土壌中の炭素と微生物の含有比率が過去数百年の間に激減したこと、両者の比率を元に戻すことが、Planetary Health & Peace にとって決定的な意義をもつことを明証。

**５．ホモ（ヒト）属の適応・進化のスケッチ**

250万年前　直立歩行の恒常化、狩猟採集民の**10名規模の社会の誕生**、旧石器

200万年前　　山野を毎日数十キロ歩き、走る　アフリカ大陸からユーラシアへの拡散

　直立歩行に伴う出産困難――未熟児の分娩　父親の養育参加必至　家族の起原

近親婚の禁止と母系制大家族の形成――子育てケアに卓功――優れた子孫の輩出に貢献

　30万年前　　火の使用　寒冷地への進出、衣服、針、弓矢の製作・生産の起原

　20万年前　　東アフリカでホモサピエンスの誕生　とくに社交・共感性に富む

**100名を越える社会**

　17万年前　　言語・認知革命　社会はついに**500名の壁を突破**

　サピエンスのアフリカ外への拡散

　　3－4万年前　　最初の**アニミズム＝自然宗教が洞窟のなかで**生まれる

　　1万年前　　農業革命―農耕・畜産と定住・都市の形成と貧困化

　　　　　　エデンの園を守ってきた原始共同体のえ３つのルールの崩壊

1. 有能な者には義務を負わせよ　ノブリス・オブリージの盟約
2. 妊娠したとき決して相手の男の名を明かさないという娘たちの盟約
3. 獲物は神の化身なり、アニマとして崇敬せよ

　　5千年前　　社会の規模は**数万人**となり、最初の**王国**＝国家と軍隊、人格神宗教、

家父長制家族の拡大

3千年前　普遍的な貨幣＝硬貨の誕生、生存維持経済から**市場経済の分離**・独り立ち

2500年前　ぺルシア帝国の誕生　**数十万人の社会**

2000年前　ローマ帝国・秦帝国　一神教の人格神の誕生　**数百万人の社会へ**

　500年前　　科学革命

　200年前　　産業革命　家族とコミュニティが国家と市場に代替される　人新世

　　　77年前　　核の時代

**藤岡第2レポートの論題の素案**

　以下の問いの大部分にたいする藤岡の見解は、「帰りなん、いざ豊穣の大地と海へ」（藤岡HPの「藤岡の論文を読んでみませんか」の冒頭の文献）のなかに収録されています。私の見解の弱点を指摘しつつ、あなた自身の見解を展開してください。 なお今後は、一度提出するとレポートの再提出はできなくなります。完成レポートだけを提出してください。

**Ⅰ．必答問題**

（１）①イノチとは何ですか。あなたの意識（脳）がイノチを持っているのですか。それとも地球で３０億余年引き継がれてきたイノチが今、あなたを生き、心身を自然体に発達させ、母体から分離後の一定の段階で「自我」を生み出してくれたのですか。

　②、私の「自我」とは何ものなのでしょうか。どこから来て、どこへ行くのでしょうか。

（２）2百万年前の石器革命とともに、母系大家族と狩猟・採集にもとづく生活が始まり、「自然」からの「社会」の分離＝枝分れが始まったとされます。その後、20万年前のホモ・サピエンスの出現、１７万年前の「言語・認知革命」の影響下で、「社会」形成の心棒たる「文化」が生み出され、その結果、「社会」は50名の規模を超えて拡大するに至ったといいます。１万年ほど前には社会から「政治」が分離し、戦争、国家・帝国が生み出され、４千年前頃からは社会から都市・商人・市場「経済」が分離するに至ったとされます。そもそも自然、社会、政治、経済、文化とは何であり、相互にどのような位置関係に立つのですか。藤岡見解（「帰りなん、いざ・・・」 8-12ページ）や「唯物史観から生命史観へ」を読み、あなたの見解を展開してください。

（３）「幸せ」とは何ですか。藤岡見解の不十分な点を指摘しつつ、あなたの見解を展開してください。

*◇藤岡の体験：幸せって、生きていて良かったな・・・、しかしあくまで結果。これを目的にして、「青い鳥」を追いかけてだすと、逆効果になってしまった*

**Ⅱ．選択問題**

以下の６問から４問を選んで答えてください。

（１）①真（真理）を追究する学問、②善（正義）を追求する宗教・倫理、③美（高貴さ）を追求する芸術は、文化活動の3大領域だとされます。それぞれ何であり、どんな位置関係に立っているのですか。「美しい人生」とは、どんな生き方のことなのでしょうか。具体例をあげて説明してださい。

（２）「こころ」とは何ですか。どこにあるのですか。「自分探し」に熱中したあげく、「心理主義」の罠に落ち込み、挫折する若者が増えていると聞きます。「心理主義」の罠からわが身を解放するにはどうしたらよいのでしょうか。

（３）①「エコノミー」（経済）と「エコロジー」（生態系）とは、ともに「オイコス」（棲家）というラテン語から生まれた派生語です。「エコノミー」と「エコロジー」とは、どんな関係に立っているのですか。ジャイナ教修道僧であったサティシュ・クマールさんの説明が簡潔で、参考になると思います。　検索してください。

<https://www.youtube.com/watch?v=1xWczP0jhuI>

（４）草場一寿さんの『毎日がイノチの祭』によると、①沖縄の晴明際の墓参では、子宮に模した亀甲墓の前や中に一族が集まり、どんちゃん騒ぎをすることが先祖供養となるとされています。それはなぜですか。②食前に「あなたのイノチをいただきます」と唱える人は多いのですが、沖縄やアイヌなど原始共同体の文化を継承する人の間では、食物を神の化身、や自分の一部と捉え、「私の指をいただきます」と思っているも少なくありません。それはなぜでしょうか。

（５）①肥沃な土壌のばあい、1グラムの土のなかに何匹の微生物が生きており、乾いた砂漠のなかではどうですか。②団粒構造を成し、自力で発酵・発熱するような肥沃で免疫力の高い土壌を作るにはどうしたらよいのでしょうか（藤岡見解は、「帰りなん」論文の補説「地球とミミズと経済学」参照）。③同様に、人体のなかに発酵・発熱するような肥沃で美しい大腸フローラを創りあげ、ヒトの健康（＝免疫力の向上）と人間関係の健康（＝平和）を増進するため、何をすればよいのですか。

（６） ヒトが大人になるとはどういうことですか。「自己中心」の「生存欲求」の段階を超えて、「小我」を「大我」へと成長させ、宮沢賢治、聖フランチェスコ、M.Kガンジーのような「自己超越段階」の「宇宙市民」に発達していくにはどうしたらよいのでしょうか。

10**月27日―10月31日の深夜１２時まで**にマナバの「藤岡第２レポート」の部屋に提出してください。なおやむを得ない事情があるばあい、11月２日までの遅延提出を認めますが、遅れに応じて減点します。

**第2レポートの論題案についての修正提案を10月９日まで募集し、最終論題は、10月10日に確定。マナバで公表します。**

**藤岡第3レポート（対話A）の論題案**

　他の受講生が作成した藤岡第２レポートを読み、もっとも心を揺さぶられた注目作を３点選び、作品末尾の「コメント」ボタンをクリックし、どの箇所からどのように揺さぶられたのかを書き込んでください。

　その後、あなたの書き込んだ３点のコメントをコピーし、誰に対するコメントであるかを明記し、提出してください。 字数は自由。 配点は3点。　なお自己の作品にコメントを寄せられた受講生は、当該コメント欄の末尾のボタンをクリックし、コメントへの返信を発してください。受講生コミュニティ内の「創造的対話（正ー反―合）の弁証法」の醍醐味を味わってください。　1１**月７日から1１月10日まで**。　1１月12日までは遅延提出を認めますが、遅延程度に応じて、減点します。

なお第3レポートは、第2レポートを提出した受講生の間で、提出レポートのコメントを付けあうもの。第2レポートの提出が必要となります。

**次回（3回目　10月１１日）のお知らせ**

「平和に生きられる地域と職場づくりのヒント」

　　　　　　　　　　　ゲスト講師　小野雅司（サイエンズ研究所代表）と若者代表

東京大学教育学部卒業　サイエンズ研究所設立、代表となる。　アズワンコミュニティ鈴鹿の設立と発展をリードし、サイエンズメソッドを開発。グローバルエコビレッジネットワークのリーダーとして、スイスやブラジルでも実践指導に当たる。

**予習課題**

2020年秋の国際平和ミュージアム会議でのアズワンコミュニティの展示作品（14分）を鑑賞した後に、参加してください。

<https://youtu.be/8m1jrgxVwA8>

１０月１8日　神直子さん

10月25日　乗松聡子さん　（カナダからズームで講演）